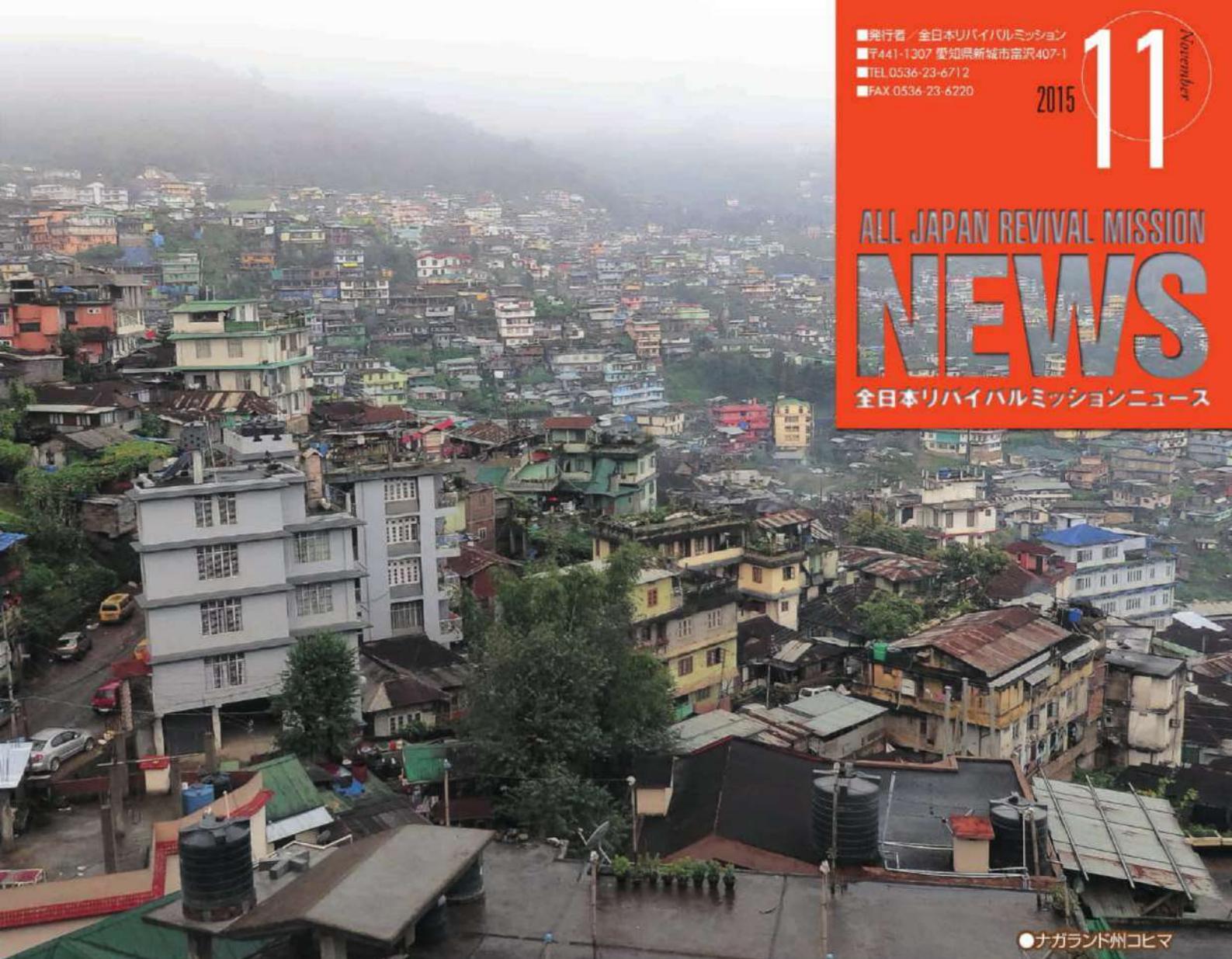


ALL JAPAN REVIVAL MISSION **NEWS**

全日本リバイバルミッションニュース

●ナガランド州コヒマ



早いもので伝道者・滝元明先生が天国に帰られてから3ヶ月が過ぎようとしています。地上での85才の生涯を戦い抜き、数え切れない魂を勝ち取り、天国に旅立たれました。あの優しい愛のまなざし、ここに届くダイナミックなメッセージ、そして誰よりも謙遜な先生の信仰に、もうこの地上で触れることが出来ないと思うと一抹の寂しさを感じます。しかしながら、やがて天の御国で、そう遠くない将来に、再び相まみえるときが来ると思うと心は希望であふれます。

語っています。

「しかし、神に感謝します。神はいつでも、私たちを導いてキリストによる勝利の行列に加え、至る所で私たちを通じて、キリストを知る知識のかおりを放ってくださいます。」
コリント人への手紙第II 2章14節

ここでパウロは凱旋式のときには香が焚かれたことを記しています。戦い終えて町に帰ってきた人々はほとんどの人が傷ついていました。中には腕のない者、歩けなくなった者、体中に傷を負い、血まみれの者、誰一人、無傷の者はいなかったと思われます。それはまさに血みどろの行進でした。その彼らを迎えたのが、一つは賛美でもう一つは香のかおりでした。この香は戦いに勝利をおさめた將軍や兵士の功績をたたえると同時に、神への感謝として焚かれたものです。そのかおりはパレードに参加している兵隊や観客の上にも注がれ、あたり一面、かぐわしいかおりが漂いました。そのかおりは兵士たちにとっては慰めであり、出席していた者には喜びでした。

滝元明先生の凱旋式に出席された方々もそのかおりを体験したことでしょう。それはアガベーの愛を知った者だけが放つことの出来るかおりでした。まさにキリストのかおりでした。先生の生涯は戦い

の連続でした。傷ついても、倒れても、命をかけてサタンに挑んでゆく先生の姿が、私の目に今も焼き付いています。私たちも勝利の行列に加えられるよう励んでいきたいものです。

「私たち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されていますが、それは、イエスのいのちが私たちの死ぬべき肉体において明らかに示されるためなのです。こうして、死は私たちのうちに働き、いのちはあなたがたのうちに働くのです。」

コリント人への手紙第II 4章11節～12

滝元明先生と10年前に天国に帰って行った田中政男先生の思いを受け継ぎ、2016年、全日本リバイバルミッションは先生方が生涯のライフワークにしていた全国巡回伝道に着手します。どうかお祈りください。そしてご支援ください。



全日本リバイバルミッション実行委員
Shuji Hiraoka
平岡修治

凱旋のかおり

先生の召天式は「凱旋式」という名称で2回に渡って持たれました。いずれも主の愛と恵みが注がれ、主の御臨在の中で執り行われました。「凱旋式」という聞き慣れない名称は滝元順先生が考えられたそうです。私は司式を依頼されたその日、広辞苑でその意味を調べてみました。そこには「凱は戦勝に奏する音楽、旋は帰ること」と記されていました。

滝元先生の「凱旋式」は文字通り賛美に満ちあふれていました。パウロは凱旋式の様子を次のように



開催間近! ナガランド・インパール リバイバルミッションのためにお祈りください!

●大会プログラム

11月25日[水]—26日[木]
マニプール州インパール

11月28日[土]—29日[日]
ナガランド州コヒマ

25日[水]	26日[木]	28日[土]	29日[日]
●オープニング集会 講師 ウンナオティン・コンハル師 滝元順師	●とりなしと 和解の集会 ●リバイバル集会 調整中	●和解の集会 講師 ゼルフーケホ師 有賀喜一師	●各教会で礼拝
	●リバイバル集会 講師 滝元順師	●ワークショップ (予定)	●ワークショップ (予定)
		●リバイバル集会 講師 有賀喜一師	●リバイバル集会 講師 滝元順師

大会講師



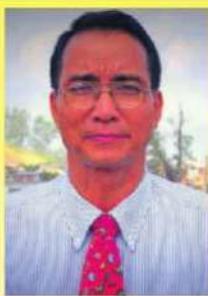
有賀喜一

全日本リバイバルミッション代表
リバイバル聖書神学校名誉校長



滝元順

全日本リバイバルミッション実行委員
新緑教会主任牧師



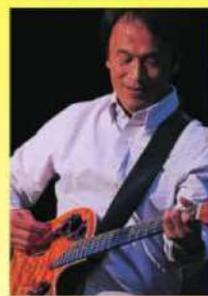
ウンナオティン
コンハル
マニプールバプテスト協議会秘書記



ゼルフー・ケホ
ナガランド
バプテスト教会協議会秘書記



ティム
ケプラー



Zawameki

●祈祷課題

・ナガランド・インパール・リバイバルミッションの勝利をお祈りください!
・ナガランド州は90%以上がクリスチヤンですが、名ばかりのクリスチヤンも存在すると言います。また、インパールを含むマニプール州はクリスチヤン人口が総人口の約40%と言われています。ナガランドにおけるリバイバルの継続と、マニプールにおける宣教の拡大のために。

・日本から参加する約30名のツアー参加者、スタッフの守りのため。
・約70年前の戦争によって残された傷がいやされ、日本とナガランドの教会の間に、主にある和解と回復がなされるように。
・今回はアメリカ、タイ等さまざまな国からも大会に参加されます。国を超えて神の家族としての一致が与えられるように。
・今回の大会を通して、日本におけるリバイバルも前進するように。

太平洋戦争70年後の今 福音宣教を考える

シリーズ⑨ SIRネットワーク代表 滝元 望

2014年11月にベリリュー島にとりなし祈るために訪問して以来、毎月1日、パラオの祈りのグループが日本のために断食をして祈ってくれています。

「ベリリュー玉碎」の出来事の70年後に現地で一緒にとりなし祈ってくださった方々で、天皇が宮中で行う旬祭(国民全体に神々に祈願している)が毎月1日にあることを知って、日本のリバイバルのためにとりなし祈ってくださっているのです。

パラオ共和国。第一次世界大戦後から太平洋戦争までの約25年間、委任統治していた南洋諸島の中心的な島々です。その統治下、「天皇の赤子となる」ために皇民化教育がパラオ人に施され、多くの子どもたちに日本名が付けられました。1940年には官幣大社である南洋神社が南洋諸島の総鎮守としてコロール島に鎮座しました。

温和で、穏やかな気質のパラオの人々。スペイン、ドイツの植民地として統治されてきたこともあって、新しい

統治者である日本に従順であったことが伺えます。

国民学校には奉安殿が建てられ、子どもたちはそこに挙式し、各村ごとに建てられていった神社や南洋神社にもすすんで参拝していました。

統治に従順であったこと、ベリリュー島やアンガウル島などの激戦地以外では地上戦ではなく、住民への被害も少なかったことなどが親日的である要素だといわれますが、その裏返しとして、靈的な縛目も強く深いのかもしれませんと思われます。

パラオはキリスト教徒(カトリック、プロテstant)の割合が70%を超えるといわれますが、その殆どが名ばかりのクリスチヤンであり、近年になって「靈的覺醒」が与えられるように」と真剣に祈る人々や教会が与えられ始めています。

これまでに2度訪問し、激戦地であるベリリュー島、アンガウル島、そして、コロール島、バベルダオブ島を数名の方々と、とりなし巡りました。

ベリリュー島から大本営に送られた「サクラ、サクラ」の電文が玉碎を意味していること、慰靈碑は遺族が死んだ兵士の靈を呼び下す場所となっていること、パラオに建てられていた神社に天皇の祖先の神々であるアマテラスが祀られていたことなどを詳しく説明し共にとりな

し祈ることが許されました。

彼らにとってすべてが想像を超えた事実であり、「私たちは目が開かれた。パラオから日本のリバイバルのために毎月祈る必要がある」と決断してくださったのです。

パラオのように日本が委任統治していた北マリアナ連邦のサイパン、ロタ島、ミクロネシア連邦に属するヤップ、チューク、ボナベ、コスラエなどの島々、マーシャル諸島の島々には太平洋戦争の傷跡だけでなく、日本の統治によって深く根を下ろした靈的課題が残されていることを知る必要があります。

日本のリバイバルのためには、日本の教会が目覚め立ち上ることが必要です。同時にアジアの國々、そして、南の島々の兄弟姉妹からの祈りも必要不可欠だと信じます。



2016年は、全日本を巡りめぐる



「全日本リバイバルミッション」は、滝元明、田中政男両師によって1970年に創設された、「日本リバイバルクルセード」を前身として始まりました。両師はすでに地上での働きを終えて主の元に帰りましたが、彼らは「巡回伝道者」として、全国をくまなく廻って福音を伝えました。その働きにより、多くの人が救われ、その中から献身し、今もフルタイムで主に仕えている器も少なくありません。最近、教会から伝道会が消えたといわれます。様々な理由が考えられますが、その大きな理由に、「巡回伝道者がいなくなった」事があげられます。伝道なくして日本教会の未来はありません。2016年、リバイバルミッションは、「巡回伝道の年」とするよう、主からの導きを受け取っています。来年、私たちは、47都道府県を巡り、全力で福音を伝えます!あなたの街にも伺います!この働きのために祈り、お支えください。

今も心に響く! 真直なメッセージを伝道にお用いてください。

伝道者・滝元明
メッセージ
DVD
6枚セット



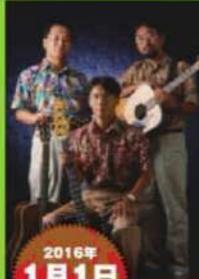
●全日本リバイバル甲子園ミッション本大会(1993)

●東京リバイバルミッションat日本武道館(1998)

価格 ● ¥5,000 [+税]

2016年
1月1日
発売!!

なつかしいサウンドに、新しいサウンドを乗せて
30年ぶりのニューアルバム!!



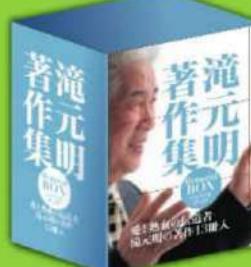
2016年
1月1日
発売!!

滝元明+
グロリア
シンガーズ

メッセージ
&ゴスペル
ニューCD

価格 ● ¥1,500 [+税]

このために
特別に新しく
レコーディング
された



滝元明・著作集
メモリアル
ボックス

予約
受付中

数量限定150

●特製メモリアルボックス13冊入+別冊「天国への招待」
通常価格: 合計¥12,992(税込)のところ

価格 ● ¥10,000 [税込]

○問い合わせ ▶(株)プレイズ出版 Tel.0536-23-6195 Fax.0536-23-6699

※詳細は次号で

第4期 靈的戦い専門課程

教職者を中心に、牧会伝道の現場で靈的戦いを実践しておられる方々のために、一歩進んだ靈的戦いの学びを提供する、靈的戦い専門課程。主講師の滝元順師による講義の他、参加者による分かち合い、野外のとりなし実習など、多彩なプログラムを通して有意義な学びがなされています。

12月度専門課程日程

2015年12月7日[月]10:30-8日[火]16:00

費用/全参加14,139円[税込・食費・宿泊費含む]

※11月は靈的戦い専門課程はありません。

滝元明&田中政男メモリアル 賛美と祈りで綴る24時間

2016年は巡回伝道の年。全日本リバイバルミッションの先駆けとして、神からの使命を全うした、二人の伝道者、滝元明・田中政男両師の働きを思いおこし、日本全国47都道府県にむかって走り出そう!

2016年新春24時間



早期申込特典!!

参加登録先着300名の方に、
滝元明・田中政男両師の
メッセージCD2枚組をプレゼント!

*小学生以下の子様は対象外となります。

2016年

1月1日[祝・金] 16:00-2日[土] 16:00

新城教会

〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1

全参加[1泊3食] お1人:4,000円

[登録費1000円・夕食1000円・昼食500円・仮眠 朝食1500円]

開催日時

会場

参加費



リバイバル聖書神学校
Revised Biblical Seminary

○次回以降のスケジュール [すべて月曜日~火曜日]

2016年1月25・26日 ● 2月22・23日 ● 3月28・29日 ● 4月25・26日

5月23・24日 ● 6月27・28日 ● 7月25・26日

*予定は変更になる場合があります。*靈的戦い専門課程は通常のセミナーとはことなり、教職者および教会による推薦を受けた方々を対象として開講しています。信徒として個人的に靈的戦いの学びを希望される方は、神学校の聽講あるいはDVD講座の受講をおすすめします。

○お問い合わせ、参加申込みは、神学校事務局まで。

